

時空をこえてつながってきた人形劇のまち飯田

人形劇の祭典「人形劇カーニバル飯田」 ～始まり そして発展と充実～

いいだ人形劇フェスタの前身「人形劇カーニバル飯田」は、1979年(昭和54年)の国際児童年に始まりました。全国からプロ・アマを問わない人形劇を愛する人たちが飯田に集まり、市民を巻き込んだ、街中に広がる人形劇のお祭りを生み出したのです。各地区に上演会場を設け、地区の方との交流を大切にした分散公演は、他では類を見ない画期的なものでした。その後、人形劇人のパレードや商店のウィンドーに劇団の人形を展示するウィンドー人形展など、カーニバルならではの企画が次々と生まれ、参加劇団も年々増えていきました。



1986年第8回には、初めての本格的な国際人形劇フェスティバル、ウニマアジア会議が開催され、人形劇カーニバルの国際化が広がりました。1988年、第10回を記念し、「世界人形劇フェスティバル」が東京・名古屋と合わせ、飯田のカーニバルでも同時に開催されました。この年、ウニマ本部が置かれているフランスのシャルルヴィル・メジュール市との友好都市提携が結ばれ、飯田市は人形劇を通じて国際交流都市の仲間入りをしました。



人形劇人と市民が一体となったこのお祭りは、各方面から高い評価を受け、飯田市は「人形劇のまち飯田」として知られるようになります。そして、1998年第20回には飯田市単独による世界人形劇フェスティバルが開催され、人形劇人と飯田市民により選考された大変すばらしい人形劇作品が上演されました。カーニバルは全国からプロ・アマたくさんの人形劇人が大集合するお祭りから、優れた芸術としての人形劇が一堂に会する祭典へと発展していったのです。



1979年に「人形劇カーニバル飯田」は始まりました



1988年飯田で「世界人形劇フェスティバル」開催



1993年「世界の大道人形劇フェスティバル」開催